

概要

高千穂峡は、阿蘇山の噴火によってできた渓谷です。両側にそそり立つ圧巻の断崖が特徴の一つです。また、高さ約 17m の真名井の滝、素晴らし絶景と共に見ることができる 3 本のアーチ橋も高千穂峡の魅力です。また、貸しボートもあり、下から眺める真名井の滝も人気があります。

高千穂峡は、地元の神話と深い繋がりががあります。神が最初に造ったとされるおのころ島、そして荒神鬼八が投げたとされる「鬼八の力石」なども近くに点在しています。

1934 年 11 月 10 日、高千穂峡は、国の名勝、天然記念物に指定されました。

地理的な背景

柱状節理として有名な高千穂峡のそそり立つ渓谷は、火砕流が急激に冷却されたためにできたもので、時を経て現在のような V 字型の断崖に侵食されてきました。平均 80m、場所によっては 100m の断崖が東西約 7 キロに渡って続いています。1965 年には、祖母傾国定公園の一部に指定されています。